

使用済みプラスチックの再資源化事業に取り組む新会社 「株式会社アールプラスジャパン」への資本参加について

- 業界を超えた12社による共同出資会社 —
— 米国バイオ化学ベンチャー企業・アネロテック社の技術を活用し、
環境負荷の少ない効率的なプラスチック再資源化技術の開発に挑戦 —



北海製罐(株)は、サントリーMONOZUKURIエキスパート(株)、東洋紡(株)、レンゴー(株)、東洋製罐グループホールディングス(株)、J&T環境(株)、アサヒグループホールディングス(株)、岩谷産業(株)、大日本印刷(株)、凸版印刷(株)、(株)フジシール、(株)吉野工業所のプラスチックのバリューチェーンを構成する12社で、持続可能な社会の実現に向けて、プラスチック課題解決に貢献すべく、使用済みプラスチックの再資源化事業に取り組む共同出資会社、株式会社アールプラスジャパン(代表取締役社長：横井恒彦 所在地：東京都港区)を設立し、6月から事業を開始しました。

今後も(株)アールプラスジャパンは広く出資を募る予定です。現在、住友化学(株)なども出資への検討を進めています。

当社は、経営理念である「ものづくり力で社会・文化に貢献する」及び、『環境の世紀』にふさわしい企業を目指す」とした環境方針の下、グループが推進するESG経営に則した企業活動を展開しています。近年では、地球規模で課題となっているプラスチック問題に対して、再生レジンの採用や生分解性プラスチック原料の利用検討等、積極的に取り組んでいます。この度、米バイオ化学ベンチャー企業・アネロテック社において、環境負荷の少ない効率的な使用済みプラスチックの再資源化技術の開発可能性が見出されました。当社は、この技術が当社並びにグループが掲げる環境方針に適した取り組みであると判断し、新会社への資本参加を決定致しました。

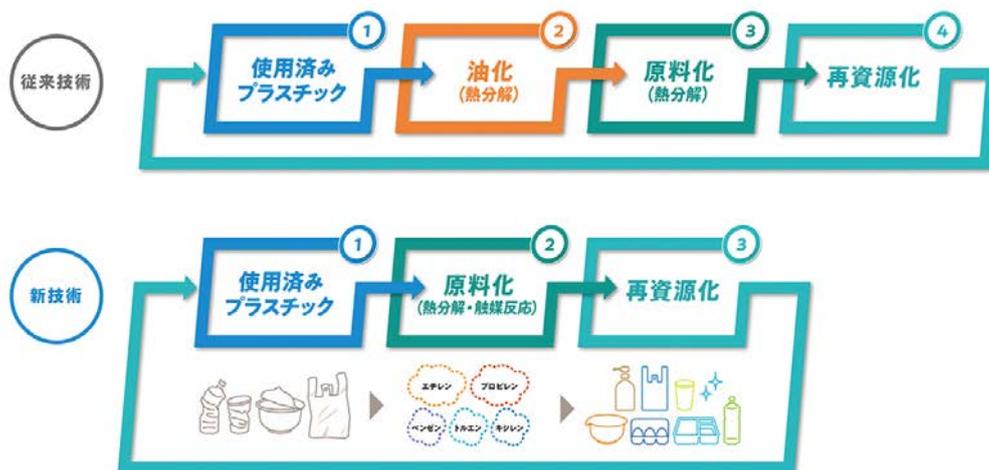
●使用済みプラスチックの再資源化技術について

ペットボトル以外のプラスチックは、現在国内では多くが燃焼※1されているとされています。今回の技術は、ペットボトルを含むその他一般のプラスチックを、直接原料(ベンゼン・トルエン・キシレン・エチレン・プロピレンなど)に戻すケミカルリサイクル※2の技術です。

従来の油化工程を経由するケミカルリサイクルよりも少ない工程で処理でき、CO2 排出量やエネルギー必要量の抑制につながるものと期待しています。この技術が確立できれば、より多くの使用済みプラスチックを効率的に再生利用することができると思っています。

※1 焼却時に発生する熱を回収し、発電や熱供給に活用するサーマルリカバリー（熱利用）を含む

※2 使用済みの資源をそのままではなく、化学反応により組成変換した後にリサイクルする



今回設立した(株)アールプラスジャパンは、アネロテック社とともに、この環境負荷の少ない効率的な使用済みプラスチックの再資源化技術開発を進めます。世界で共通となっているプラスチック課題解決に貢献すべく、回収プラスチックの選別処理、モノマー製造、ポリマー製造、包装容器製造、商社、飲料メーカーなど業界を超えた連携により、2027年の実用化を目指していきます。

●会社概要

- ▼会社名 株式会社アールプラスジャパン
- ▼事業開始 2020年 6月 5日
- ▼本社所在地 東京都港区台場2-3-3
- ▼代表取締役社長 横井恒彦
- ▼事業内容 使用済プラスチックの再資源化技術の開発・実用化推進

●アネロテック社 (Anellotech Inc.) について

2008年創業。米国ニューヨーク州パールリバーに本社・研究開発機能をもつバイオ化学ベンチャー企業。非食用の植物由来原料から石油精製品と同一性能を持つベンゼン・トルエン・キシレンを生成する技術開発を進めている。

▽北海製罐の環境活動(ホクカンホールディングス(株)ホームページより)

グループ環境方針：<http://www.hokkanholdings.co.jp/csr/policy.shtml>

グループ CSR 報告書：<http://www.hokkanholdings.co.jp/csr/index.shtml>

以 上